

湯の湖放射能検査結果報告

湯の湖では、3月から魚の放射能検査を行ってきました。

この間、釣り対象の全ての魚種で放射性セシウムが100 Bq/kgの基準値以下でした。

5月中の1か月間、キャッチ&リリースとして魚の持ち出しを制限した理由は、全ての魚を3回検査するのに水温が低くてサンプルが採取しにくかったこと、また雪解け後に放射性物質の値が上がるか否かを確認する期間が必要だったためです。

湯の湖の集水面積が他の湖水に比べて少ないことと、湖底からの湧き水が多いことから影響は少ないものと考えておりましたが、これまでの検査結果で安全が確認されましたので、キャッチ&リリースの制限を解除し、本来の釣魚方法にもどすこととなりました。

5月1日からの1か月間キャッチ&リリースでの釣りにご協力いただき、ありがとうございました。今後も湯の湖の魚類資源を守るため、持ち帰り制限尾数は、1人20尾までとなっていることを改めてお願い致します。

湯の湖・湯川では、今後も増養殖研究所による放射能に関する調査や検査用サンプルの捕獲のため、ご迷惑をおかけする事もありますが、ご理解、ご協力をお願いします。

湯ノ湖における魚類の放射性物質検査結果

平成24年5月25日

5月20~21日採取

単位: Bq/kg

No.	品目	採取場所	結果				備考
			判定	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 134と137の合計	
1	ニジマス	日光湯ノ湖	適合	8.3	13	21	
2	ホンマス	日光湯ノ湖	適合	7.6	10	18	
3	ヒメマス	日光湯ノ湖	適合	6.7	10	17	
4	カワマス	日光湯ノ湖	適合	9.7	16	26	
基準値				100			

注1)分析機関:(独)水産総合研究センター